

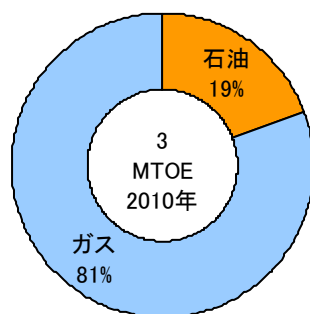
1-13 ブルネイ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 3 百万 TOE (日本の 0.01 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 8.31TOE (日本の 2.30 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 560%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 8.21 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 20.58CO₂ 換算 ton (日本の 229.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 18.2 年、天然ガス 22.5 年

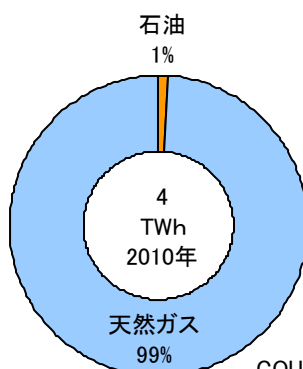
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Brunei Darussalam

(出所) IEA. Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 edition.

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Brunei Darussalam

(出所) IEA. Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 edition.

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 総理府内に設置されたエネルギー部 (Energy Department) が、エネルギー政策を全て担っている。現在のエネルギー大臣は、Pehin Dato Mohammad Yasumin Umar 氏である。

(2) 基本政策

- エネルギー資源の長期にわたる安定した生産と輸出の維持を目指し、石油・ガスの追加増産は行わず、新たな資源発見により埋蔵量を追加し、現行確認埋蔵量を維持し続けるという「資源温存」を基本としている。

(3) 最近の動向

- 2009年3月、ブルネイとマレーシア間で6年間に及ぶ Sarawak 州北部 Limbang における領土問題について、ブルネイの Hassanal Bolkiah 国王とマレーシアの Abdullah 前首相との間で歴史的な公文書の交換がなされ、最終的に解決した。公文書には、二国間における海上境界線の最終的な設定、石油とガスのコマーシャル協定地区の設定等が含まれており、石油・ガス資源の探鉱・開発において両国の相乗効果が期待される¹。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- わが国とブルネイは LNG 貿易を通じて深い関係を有している。2011年度の日本のブルネイからの輸入実績は、LNG が 617.6 万 ton (日本の輸入量全体の 7.4%) で、原油が 653 千 kl (日本の輸入量全体の 0.3%) であった²。
- 2011年9月、三菱商事はブルネイ政府系石油会社から権益 6.25%を取得した。Shell や Petronas などと 700 億円を投じて探鉱、埋蔵量を確定したうえで、早ければ 2013 年にも開発に着手し、2014年に生産を始める。ピークで年間 400 万 ton の LNG と日量 50 万 bbl の石油生産を見込んでおり、将来は日本などへの輸出を視野に入れている。対象となるのはブルネイの沖合 80km に位置する面積 5000km² の水域である。その他の事業参加比率は Petronas 45%、米 Murphy Oil 30%、Shell 12.5%、米 Conoco Phillips 6.25%³。
- 三菱商事がブルネイで建設していた同国初の太陽光発電所が完成し、2011年5月26日に開所式を行った。出力は 1,200kW、一般家庭 200 世帯に電力を供給するのに十分な年間 1,344MWh を発電する。これにより、原油換算で約 34 万⁴が節約可能であり、また年間 960 ton の二酸化炭素を削減することができる⁴。

¹ 日本ブルネイ友好協会 Brunei News 2009/03/18

² 石油連盟ホームページ

³ 日本経済新聞 2011/09/10

⁴ 日本ブルネイ友好協会 Brunei News 2011/05/30

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	3 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	8.31 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.33 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	560 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8.21 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	20.58 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	0 %
	石油	19 %
	ガス	81 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-460 %
(9)	石油の輸入依存度	-1,200 %
(10)	輸入原油の中東依存度	0 %
(11)	原油輸入先	
	第1位	—
	第2位	—
	第3位	—

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA, Energy Balances of NON-OECD Countries 2012 Edition.

(5)～(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition.